

事務事業	14020	学校給食管理事業	担当課 課長	学校教育課 吉川 求	担当係 担当者	学校教育係 太田 成洋
計後 画期 体計 系画	施策	06 子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	190 学力向上と豊かな心を育てる		款	10	教育費
				項		02小学校費、03中学校費
				目	1	学校管理費
			基本事業			
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	□28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H15 年度より開始		□期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 小学校4校・中学校2校で、出来たてのものを食べてもらうための自校方式による完全給食を実施。一人あたり、年183食を提供する。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 契約事務(プロポーザル方式の3年間複数年契約)	調理業務委託料 104,604 千円
	消耗品費 3,438 千円
	給食備品購入費 3,373 千円
	エレベーター保守点検委託料 1,452 千円
	自動扉保守点検委託料 691 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・小中学校の給食調理民間委託(6校)	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値			
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 小学生、中学生	名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア 小中学校給食提供日数	日	183	183	183 (見込)
		イ 契約件数	件	6	6	6 (見込)
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) ・栄養のバランスのとれた豊かな食事の提供。 ・望ましい食習慣の形成。共同・協調、社会性の育成。	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値			
		名称	単位	27年度	28年度	29年度
ア 小中学校児童生徒数(5月1日現在)		人	4,388	4,409	4,528 (見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称	単位	27年度	28年度	29年度	
	ア 給食数(全校生徒数5月1日基準日)	食	目標	4,388	4,409	4,528
			実績	4,398	4,409	
	イ 小中学校給食提供日数	日	目標	183	183	183
			実績	183	183	
	ウ		目標			
			実績			
	エ		目標			
実績						
オ		目標				
		実績				

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)	27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	国・県支出金、地方債等						
	受益者負担等						
	一般財源	115,334	118,323	121,916	120,207		
	合計(A)	115,334	118,323	121,916	120,207	0	0
	(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	1,679	2,811	1,180	1,736		
トータルコスト(A)+(B)	117,013	121,134	123,096	121,943	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
戦時中から続いた栄養不足を補うため、昭和24年から学校給食開始。	児童生徒の増により、給食数が増加している。	児童生徒の保護者からアレルギー対応給食の要望があっている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	児童生徒に安全な給食を提供している。また、豊かな人間性を培う心の教育、食に関する指導を推進している。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	教育環境の整備は行政の役割として妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	給食の必要な提供日数は、十分に検討したうえで対応しているため向上余地は無い。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	栄養のバランスのとれた豊かな食事の提供と望ましい食習慣の形成。共同・協調、社会性の育成ができなくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	町内すべての学校で、給食はプロポーザル方式による民間委託であり、コストの削減は出来ない。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

28年度から3ヶ年の長期継続契約を行うため、学校給食調理業務委託する業者をプロポーザル方式により選定した。業者選定にあたり仕様の見直しを行い、本事業の目的と意図に沿った業務内容の充実を図った。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	